令和2年度 新潟市農業活性化研究センター試験成績書

研究課題	耐裂果性品種「麗月」の適切な栽培法の検討(抑制作型・無加温ハウス)
背景・ねらい	「麗月」という品種は、裂果や裂皮の発生が極めて少ないため有望な品種であり、市内産地で作付が急速に増えている.しかし他品種にくらべ果実が小さく、出荷規格に満たない果実の発生も多い.そこで、果実肥大をにつながる栽培法の確立が求められている.
担当者名	主担当:野口久弥 副担当:鍋田慎介
研究期間	2020~(新規)

1 目 的

果実肥大に有効な手段のひとつとして、若苗定植が考えられる. 適切な苗齢とその播種時期を明らかにする. また、台木品種についても検討する.

2 方 法

- (1) 試験場所:センター内 パイプハウス1
- (2) 供試品種 (穂木): 麗月 (サカタのタネ)
- (3) 試験区の構成・規模

ア 試験区の構成

, h (4)	(III) 4/4	
要因	水準数	水準の内容
定植時の 苗齢 (播種日)	3	①開花直後(6月1日) ②開花前(6月8日) ③着蕾期(6月15日)
台木	2	B バリア (タキイ種苗), グランシールド (サカタのタネ)

イ 試験区の規模:1区5株・2反復

(4) 耕種概要

ア 播種・育苗

播種: 台木・・「Bバリア」各播種日の3日前

接木: チューブ式支持接ぎ(台木を10.5 cm ポットに移植して接木)

イ 本圃管理

定植:7月20日(①播種区の第1花が開花した頃、全区一斉)

収穫期間 : 8月26日~11月19日

摘芯 :9月10日~9月15日 (第6花房を確認次第, 花房節より上2葉残し)

摘果:1果房4果程度

栽植密度 : 1,665 株/10 a=畝幅 1.5 m, 株間 40 cm, 1 条植え

遮光 : 28℃設定(自動)

ウ 施肥:基肥 (kg/10 a) N-P₂O₅-K₂O=10.2-10.2-10.2, 堆肥施用 もみがら堆肥 4.0 t/10 a

追肥 N-P₂O₅-K₂O=5.0-5.0-5.0

3 結果の概要

(1) 栽培経過の概要

本年は長梅雨の影響を受けた7月を除き、生育期間を通して気温は平年より高めに推移したが、概ね生育に問題はなかった。9月中旬頃に一時的な灌水不足により第3果房(③区は第2果房)で尻腐れが多発した。10月以降には原因不明の生理落果が散見された。11月は平年より気温が高かったため、収穫期間を延長し11月19日で収穫を終了した。

(2) 生育

育苗期では生育ステージの気温の違いからか③区の第1花房が平均で約10葉上,他2区は約8葉上での着生となった(表2). 定植時の生育について,草丈,葉数,茎径は①,②,③の順に大きかったが,茎径については、定植後1か月に③,②,①の順に大きくなり,栽培終了時

においても同様であった (表 2, 図 4). 台木品種間においては、グランシールドが B バリアよ りも定植時草丈、定植後1か月時草丈および栽培終了時の摘心位置が有意に高かった(表2). 開花時期について、第1花房では(1)-②間で5日ほど開き、(1)-③間で16日ほど開いたが、第 4花房以降は $(\Omega-Q)$ 間はほぼ同日、 $(\Omega-Q)$ 間は5日程度の開きであった、グランシールドは(B-Q)バリアよりも全体的に1日ほど開花が早く、収穫も早くなる傾向が見られた(表3).

(3) 収量

①,②は3段目まで、③は2段目までSサイズ中心であったが、それ以降の上段は $M\sim$ Lサ イズ中心となった。商品果1果重は③が①よりも有意に大きかった(表1-1,図2).グランシ ールドはBバリアと比較して総収量、商品果収量、A品収量、L品収量が有意に多く、M・L品 を中心としていて揃いが良かった(表1-1,1-2,図1).商品果1果重においては有意差は認め られなかったが平均値ではグランシールドが B バリアを上回った (表 1-1, 図 2).

4 まとめ・考察

本試験結果から麗月の若苗定植は、草勢を強め果実肥大に一定の効果があることが確認され た. しかし、播種を遅らせることで、生長の遅れや花芽形成期の高温遭遇に伴う着花節位の上 昇(開花期の遅れ)により収穫期が後ろ倒しになるため、無加温栽培では第6果房まで収穫し きれないリスクを伴う場合がある.

台木品種の比較においては、グランシールドが多収で果実の揃いも良く果実肥大性にも優れ ていた. 強勢台木である本品種は着果性が良く養分要求量が高い麗月と相性が良いと推察され

本課題については次年度も継続して調査を行う.

表1-1 収穫調	査									
					収量(個)					
定植時の 苗齢	台木品種	総収量 (g)	商品果収 量(g)	商品果1 果重(g)	A品	B品	C品	規格外	総収量 (個)	商品果収量(個)
	Bバリア	3238.1	2494.0	187.2	1891.5	388.5	214.1	744.1	17.7	13.3
①開花直後	グランシールド	3338.7	2757.8	192.1	2037.4	360.1	360.3	580.9	18.9	14.4
②開花直前	Bバリア	3306.7	2644.5	183.0	2151.1	172.9	320.6	662.2	18.4	14.5
② 用化 旦 刖	グランシールド	3546.6	2969.2	191.5	2365.9	308.9	294.4	577.4	20.3	15.5
③着蕾期	Bバリア	3159.9	2241.6	199.6	1603.6	349.6	282.0	918.3	16.7	11.3
0/1 笛翔	グランシールド	3716.5	3034.0	207.5	2474.6	97.2	462.2	682.4	18.7	14.8
定植時の苗齢	ì			*						<u> </u>
台木品種		*	*		*					
育苗日数×台	計 木品種									
分散分析によ	り*は,5%で有意差	きあり								

表1-2 収穫調	査														
	<u>-</u>			規格	別収量	上(個)		障害果発生数(個)							
定植時の 苗齢	台木品種	3L	2L	L	M	S	2S	小果	裂果	花落ち	空洞	奇形	チャク の あき	すじ 腐れ	尻腐れ
①則状古然	Bバリア	0.7	0.4	4.5	4.5	3.6	2.4	1.6	2.5	0.0	0.8	0.9	0.1	0.0	1.7
①開花直後	グランシールド	0.5	1.1	4.1	4.7	3.3	2.6	2.6	2.4	0.1	0.6	1.0	0.0	0.0	3.0
②開花直前	Bバリア	0.8	0.8	3.0	5.1	4.8	2.3	1.6	1.4	0.2	0.5	1.0	0.1	0.0	2.0
② 開化 旦 削	グランシールド	0.5	1.0	4.6	5.4	3.5	2.1	3.2	1.4	0.4	0.9	0.6	0.6	0.0	2.9
3 (3) 着蕾期	Bバリア	1.2	1.1	3.4	4.5	3.0	1.9	1.8	1.2	0.5	1.2	1.0	0.4	0.0	2.4
0 有 苗 朔	グランシールド	1.2	1.0	6.2	4.5	2.6	1.9	1.3	0.4	0.2	1.4	1.0	0.2	0.0	2.7
定植時の苗齢									**				*		
台木品種				*											*
育苗日数×台	木品種												**		

表1-3 収穫調査(果房別)

定植時の 苗齢		第1果房		第2果房		第3果房		第4果房		第5果房		第6果房	
	台木品種	商品果個数	商品果 収量 (g)	商品果 個数	商品果 収量 (g)								
①開花直後	Bバリア	2.7	439.4	2.8	459.3	1.6	285.6	2.3	507.6	2.5	527.3	1.4	274.8
① 州化巨阪	グランシールド	2.9	486.4	2.6	411.8	1.0	185.8	2.3	454.7	2.3	469.6	3.3	749.5
②開花直前	Bバリア	2.8	478.6	3.1	498.1	2.0	328.0	2.4	487.4	1.5	324.4	2.7	528.1
②開化旦則	グランシールド	3.2	528.5	3.0	522.4	0.7	113.0	2.8	573.2	1.9	379.3	3.9	852.8
③着蕾期	Bバリア	3.2	612.5	1.7	280.1	2.3	469.2	1.6	323.5	1.6	370.7	1.0	185.6
	グランシールド	3.4	588.6	1.3	199.3	1.5	315.9	2.4	495.0	2.1	433.3	4.1	1001.9

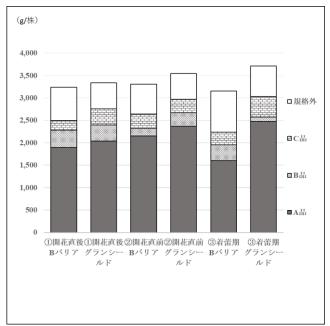
表2 生育調査

		定植	前生育	調査(7/15)	定植	〔後30日	∃調査(8	3/13)	栽培終了時生育調査				
定植時の 苗齢	ムナロ廷	草丈	葉数	茎径	第1花 房着生	草丈	葉数	第1花 房下茎	第1花 房直下	摘心位 置	:	茎径(mm)	
	台木品種	(cm)	(枚)	(mm)	n) 節 ((節)	(cm)	(枚)	房下至 径(mm)	葉葉長 (cm)	(cm)	1段下	3段下	6段下	平均
①開花直後	Bバリア	29.4	8.4	5.7	8.1	94.3	18.5	11.1	39.8	159.6	13.9	15.5	14.4	14.6
	グランシールド	32.2	8.5	5.9	8.1	100.0	19.5	11.3	40.5	169.1	14.2	15.6	14.1	14.6
◎ Ⅲ#±±	Bバリア	24.1	7.4	5.6	7.8	82.3	18.6	11.6	42.6	156.5	14.8	16.1	14.1	15.0
②開花直前	グランシールド	25.8	7.0	5.8	7.5	91.5	18.3	12.6	43.1	160.5	15.5	16.3	14.8	15.5
③着蕾期	Bバリア	22.8	5.3	5.4	9.9	82.0	17.1	14.6	49.2	164.4	18.3	16.3	13.6	16.1
回有苗州	グランシールド	23.8	5.7	5.4	9.5	87.6	17.9	15.5	51.1	161.2	19.3	16.9	14.4	16.9
定植時の苗	齢	**	**		**	**	**	**	**	*	-	-	-	**
台木品種		*			*					*	-	-	-	
育苗日数×										-	-	-		
八歩(八北)?	- F M **+> F 7 1 * 1 +	フル	プン 10 10	/.b> b +	ドドハグオ	- * ***	20	•				•		

分散分析により **および*は、それぞれ 1%および 5%で有意差あり

表3 開花日および収穫日調査

定植時の 苗齢				平均開	花目		平均収穫日						
	台木品種	第1花房	第2花房	第3花房	第4花房	第5花房	第6花房	第1花房	第2花房	第3花房	第4花房	第5花房	第6花房
①開花直後	Bバリア	7/18	8/1	8/10	8/19	8/24	8/31	8/29	9/9	9/17	10/15	10/19	10/27
	グランシールド	7/18	7/30	8/8	8/17	8/22	8/28	8/29	9/7	9/15	10/8	10/12	10/23
②開花直前	Bバリア	7/23	8/3	8/10	8/18	8/24	8/29	9/3	9/11	9/27	10/12	10/27	10/28
少 用化旦削	グランシールド	7/23	8/2	8/10	8/17	8/23	8/30	9/3	9/10	9/17	10/8	10/24	11/4
③着蕾期	Bバリア	8/4	8/10	8/18	8/23	8/29	9/4	9/11	9/18	10/11	10/21	10/30	11/9
	グランシールド	8/2	8/8	8/16	8/21	8/27	9/3	9/9	9/17	10/1	10/13	10/30	11/7



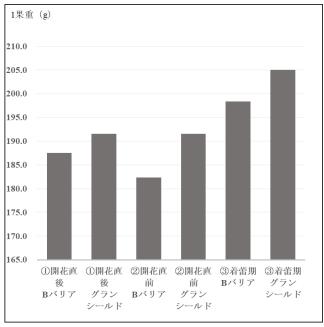


図1 各区の品質別収量

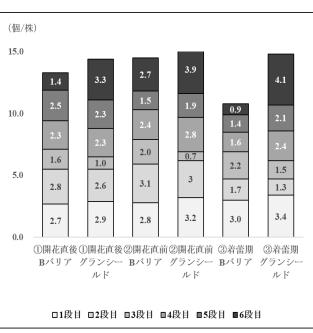


図3 各区の果房別収量

図2 各区の1果重

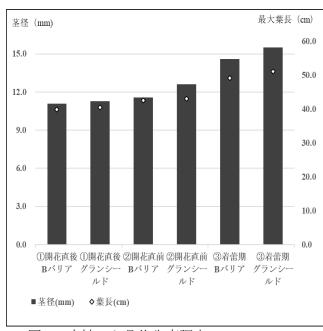


図4 定植1か月後生育調査